

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東 大

上場会社名 コンドーテック株式会社

コード番号 7438 URL <http://www.kondotec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菅原 昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 安藤 朋也

TEL 06-6582-8441

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	8,945	13.7	405	—	426	659.8	228	32.1
23年3月期第1四半期	7,867	—	29	—	56	—	172	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 190百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △123百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	17.60	—
23年3月期第1四半期	13.32	—

(注) 平成23年3月期より連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	25,499	14,403	56.5
23年3月期	26,194	14,381	54.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 14,403百万円 23年3月期 14,381百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	14.00	—	13.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の第2四半期末の配当予想額14円には、東京証券取引所及び大阪証券取引所市場第一部指定記念配当1円が含まれております。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,525	9.2	632	60.0	675	52.9	363	△5.3	28.05
通期	37,625	5.8	1,480	16.1	1,561	13.4	845	1.3	65.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	13,528,500 株	23年3月期	13,528,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	567,240 株	23年3月期	567,211 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	12,961,279 株	23年3月期1Q	12,961,335 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響による直接的な被害に加えて、生産活動にも大きな影響が生じましたが、サプライチェーンの急速な復旧から持ち直しの兆しが出ている一方で、原発事故に伴う電力の供給不足や放射能汚染、円高など懸念すべき問題も多く、先行きの不透明感を払拭できない状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、東日本大震災が発生した3月の新設住宅着工戸数は前年比マイナスとなったものの、4月以降回復基調に転じておりますが、足元の水準は低く厳しい状況で推移しております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、連結子会社である三和電材株式会社との事業拡大を図っております。

また、災害復旧や耐震資材を取扱う当社グループとして、土砂災害・応急仮堤防工事向け資材の安定供給や応急仮設住宅向け資材などの震災後の緊急需要に、全社員の総力を結集し順次対応してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,945百万円(前年同期比13.7%増)となりました。利益面につきましては、復旧需要による売上増と売上総利益率の改善により、営業利益は405百万円(前年同期比1,277.7%増)、経常利益は426百万円(前年同期比659.8%増)、四半期純利益は228百万円(前年同期比32.1%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### <産業資材>

土木・建築を始め、物流や船舶、電力、鉄道、営林、農園芸、環境、街路緑化、産業廃棄物関連などさまざまな業界に商材を供給している当セグメントは、震災後の土砂災害・応急仮堤防工事向けのコンテナバッグの安定供給に努め、現場用品や仮設足場部材への需要の高まりもあり、当セグメントの売上高は5,368百万円(前年同期比13.2%増)、セグメント利益は284百万円(前年同期比113.0%増)となりました。

#### <鉄構資材>

推定鉄骨需要量は若干の回復基調で推移する状況に押しとどまりましたが、応急仮設住宅向けのターンバックル・ブレースやその関連部材など震災後の緊急需要に順次対応し、当セグメントの売上高は2,082百万円(前年同期比26.8%増)、セグメント利益は82百万円(前年同期はセグメント損失108百万円)となりました。

#### <電設資材>

東日本大震災後の不透明感から、着工建築物ならびに設備投資需要は低調に推移いたしました。平成23年7月の地上デジタル放送への完全移行に向けた駆け込み需要や太陽光発電などのエコ・環境関連需要を積極的に取込み、当セグメントの売上高は1,494百万円(前年同期比0.9%増)、セグメント損失は3百万円(前年同期はセグメント利益18百万円)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(26,194百万円)と比較して694百万円減少し、25,499百万円となりました。これは、製商品等棚卸資産の増加があったものの、法人税等や剰余金の配当の支払い等による現預金の減少、売上債権の減少を主因として流動資産が546百万円減少し、また、有形及び無形固定資産に係る減価償却を主因として固定資産が147百万円減少したこと等によります。

負債合計は、前連結会計年度末(11,812百万円)と比較して716百万円減少し、11,095百万円となりました。これは、未払法人税等や賞与引当金の減少、仕入債務の減少を主因として流動負債が731百万円減少した一方で、退職給付引当金の増加を主因として固定負債が14百万円増加したこと等によります。

純資産合計は、前連結会計年度末(14,381百万円)と比較して22百万円増加し、14,403百万円となりました。これは、四半期純利益228百万円による増加があったものの、剰余金の配当168百万円の支払いによる減少、投資有価証券と為替予約の時価評価に起因したその他の包括利益累計額37百万円の減少によります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(54.9%)比、1.6ポイント改善し56.5%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,396,795	2,427,648
受取手形及び売掛金	9,754,243	9,283,751
商品及び製品	1,866,924	2,334,676
仕掛品	122,877	110,084
原材料及び貯蔵品	351,459	376,511
その他	486,765	855,743
貸倒引当金	△104,474	△60,292
流動資産合計	15,874,590	15,328,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,240,799	2,205,155
土地	5,752,189	5,752,189
その他（純額）	643,408	621,686
有形固定資産合計	8,636,397	8,579,031
無形固定資産		
のれん	244,933	229,625
その他	240,435	227,728
無形固定資産合計	485,369	457,353
投資その他の資産		
その他	1,365,786	1,335,246
貸倒引当金	△167,811	△199,855
投資その他の資産合計	1,197,975	1,135,390
固定資産合計	10,319,742	10,171,775
資産合計	26,194,332	25,499,899

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,573,576	4,203,394
短期借入金	900,000	900,000
未払金	3,299,730	3,318,855
未払法人税等	457,298	95,815
賞与引当金	349,026	170,762
販売促進引当金	—	2,326
災害損失引当金	22,945	16,065
その他	468,954	633,067
流動負債合計	10,071,530	9,340,286
固定負債		
退職給付引当金	1,166,493	1,176,761
役員退職慰労引当金	261,419	263,988
その他	313,194	314,903
固定負債合計	1,741,107	1,755,652
負債合計	11,812,637	11,095,939
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,328,100	2,328,100
資本剰余金	2,096,170	2,096,170
利益剰余金	11,628,987	11,688,638
自己株式	△498,449	△498,474
株主資本合計	15,554,807	15,614,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390,104	363,831
繰延ヘッジ損益	6,242	△4,846
土地再評価差額金	△1,569,458	△1,569,458
その他の包括利益累計額合計	△1,173,112	△1,210,473
純資産合計	14,381,695	14,403,960
負債純資産合計	26,194,332	25,499,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	7,867,807	8,945,062
売上原価	6,294,803	6,964,412
売上総利益	1,573,003	1,980,649
販売費及び一般管理費	1,543,571	1,575,151
営業利益	29,432	405,497
営業外収益		
受取利息	1,621	215
受取配当金	1,124	1,080
仕入割引	26,753	28,603
雑収入	13,429	9,461
営業外収益合計	42,928	39,361
営業外費用		
売上割引	10,554	13,338
支払利息	1,132	676
雑損失	4,519	4,187
営業外費用合計	16,207	18,202
経常利益	56,153	426,656
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8,868	—
投資有価証券売却益	217,800	—
退職給付制度改定益	40,223	—
固定資産売却益	—	77
特別利益合計	266,892	77
特別損失		
固定資産除却損	132	190
特別損失合計	132	190
税金等調整前四半期純利益	322,913	426,543
法人税、住民税及び事業税	36,598	89,701
法人税等調整額	113,625	108,693
法人税等合計	150,224	198,395
少数株主損益調整前四半期純利益	172,688	228,148
四半期純利益	172,688	228,148

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	172,688	228,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△277,569	△26,272
繰延ヘッジ損益	△18,421	△11,088
その他の包括利益合計	△295,991	△37,361
四半期包括利益	△123,302	190,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△123,302	190,786
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	4,744	1,642	1,481	7,867	-	7,867
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	15	2	39	△39	-
計	4,766	1,657	1,483	7,907	△39	7,867
セグメント利益又は損失(△)	133	△108	18	43	△14	29

- (注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△14百万円には、のれんの償却額△15百万円が含まれております。
- 2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

電設資材セグメントにおいて、平成22年4月19日付で三和電材株式会社を子会社化いたしました。

なお、当該事象によるのれんの計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、306百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,368	2,082	1,494	8,945	-	8,945
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	71	18	23	113	△113	-
計	5,439	2,100	1,518	9,058	△113	8,945
セグメント利益又は損失(△)	284	82	△3	363	42	405

- (注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額42百万円には、のれんの償却額△15百万円が含まれております。
- 2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。